

病害虫防除所情報第4号

令和6年 7月 5日
山梨県病害虫防除所

【ハスモンヨトウの誘殺状況と防除対策】

ハスモンヨトウは、幼虫が果菜類（なす、トマトなど）、いも類（さといもなど）、だいず、えだまめ、花き類などの幅広い作物を食害するチョウ目の害虫である。

【発生の状況と今後の予想】

- (1) 平坦地の夏秋ナスほ場（甲府市、笛吹市）におけるフェロモントラップの成虫誘殺数は、平年に比べ多く、直近1か月間でその2.0～2.4倍となっている（図1）。
- (2) 気象庁の1か月予報（令和6年7月4日発表）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多い見込みであるため、ハスモンヨトウの発生にやや好適な条件が続くと考えられ、被害が拡大するおそれがある。

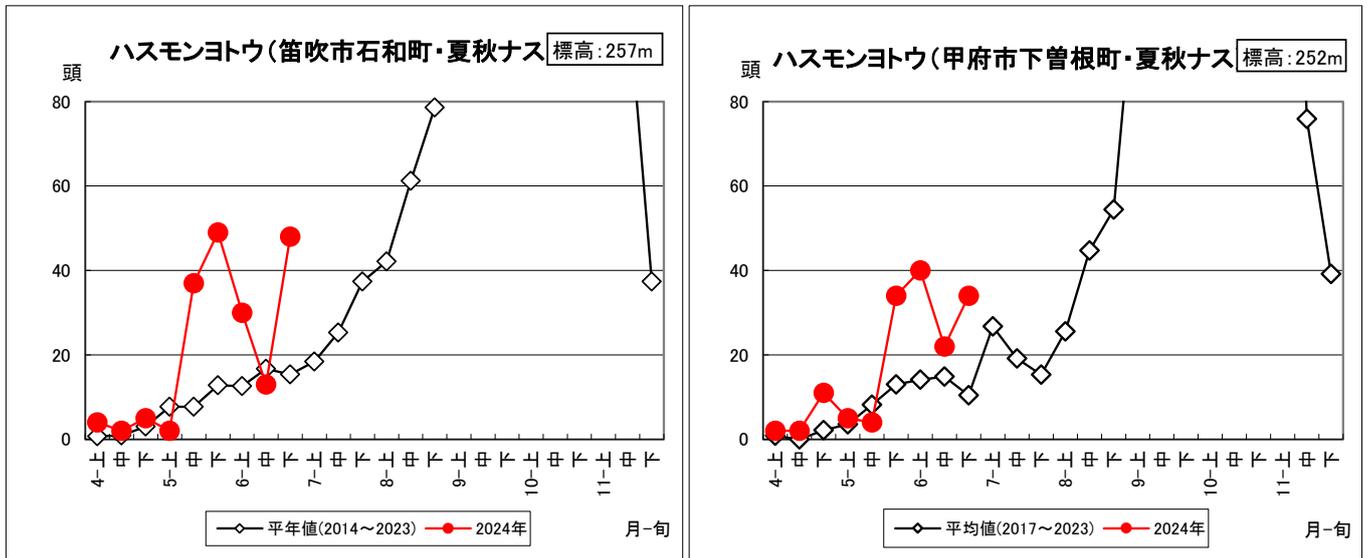


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺状況



図2 ハスモンヨトウの形態と被害

[防除対策]

- 卵塊や分散前の群生する幼虫は、見つけ次第捕殺する。
- 老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、食害痕などを目安に幼虫の早期発見に努め、若齢幼虫（体長 1cm 以下）のうちに薬剤散布を行う。同一系統の農薬を連用すると、薬剤抵抗性が発達するおそれがあるため、異なる系統によるローテーション散布を行う（表 1 を参照）。幼虫は葉裏に生息することが多いため、薬液が葉裏にも十分かかるように散布する。
- 施設栽培では、開口部に防虫ネット（目合い 4 mm 以下）等を張り、成虫の侵入を防止する。
- 病害虫防除所ホームページのフェロモントラップ調査結果や、幼虫の写真を参考に、発生状況を確認し、適期防除に努める。
 - ・ハスモンヨトウのフェロモントラップによる調査結果
<http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/00035185449.html>
 - ・ハスモンヨトウ写真
http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/byogaichu_kaisetu/yasai_kaki/zenpan_hasumonyotou.html

表 1 ハスモンヨトウに登録がある主な農薬

系統 (RACコード)	農薬名	作物名					
		なす	トマト	だいず	えだまめ	さといも	花き類・ 観葉植物
3A	アディオソ乳剤				○※1	○	○※1※2
	トレボン乳剤			○	○	○	
5	ディアナSC	○	○	○	○※3	○	
6	アニキ乳剤	○	○	○	○	○	
	アフーム乳剤	○			○		○※1
11A	ゼンターリ顆粒水和剤	○※4	○※4		○※4	○※5	
	エコマスターBT	○※6	○※6		○※6		
	サブリーナフロアブル	○※7	○※7	○※8	○※7	○※5	
	フローバックDF	○※6	○※6		○※6		
13	コテツフロアブル	○				○	○※1※9
15	マッチ乳剤		○	○	○		○※10
	カスケード乳剤		○	○	○		
18	マトリックフロアブル	○		○	○	○	
	ファルコンフロアブル	○	○				
	ロムダンフロアブル			○		○	○※10
22A	トルネードエースDF	○	○	○	○	○	
22B	アクセルフロアブル	○	○	○	○	○	
28	プレバゾンフロアブル5	○		○	○	○	
	フェニックス顆粒水和剤	○	○		○	○	○※11
	ベネビアOD			○	○		
	ヨーバルフロアブル	○	○	○	○	○	○
30	グレース乳剤	○	○	○	○	○	
UN	プレオフロアブル	○	○	○	○※12	○	○

※1 ヨトウムシ類での登録、※2 花き類・観葉植物（はぼたんを除く）に適用、※3 豆類（未成熟、ただし、さやいんげんを除く）に適用、※4 野菜類（キャベツ、はくさいを除く）に適用、※5 いも類に適用、※6 野菜類に適用、※7 野菜類（はくさい、えごま（葉）を除く）に適用、※8 豆類（種実）に適用、※9 花き類・観葉植物（きく、ストックを除く）に適用、※10 花き類・観葉植物（きくを除く）に適用、※11 花き類・観葉植物（きく、りんどうを除く）に適用、※12 豆類（未成熟、ただし、さやいんげんを除く）に適用

※ ラベルに記載されている倍率、使用回数、有効成分の総使用回数、注意事項等を守り、周辺作物や近隣への飛散防止に努める。